

令和6年度 スポーツ協会ニュース

No.	6-③
行事名	救急・救命講習会
会場	板橋区立小豆沢体育館 多目的室
日時	令和6年6月8日(土) 13時10分～16時10分
主催	公益財団法人 板橋区スポーツ協会

令和6年度「救急・救命講習会」が6月9日(土)午後1時10分から板橋区立小豆沢体育館多目的室にて開催されました。今年度の受講者は21名で、司会は総務部の吉田理事が務めました。

この講習会では、スポーツを含め、大切な命を守るために誰もが“救助者”として活躍出来るよう「救急・救命」についての講義を受け、実技練習を行いました。志村消防署から1名、東京防災救急協会から3名の方が来館し指導にあたりました。

今年度の講習会も、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に留意した手順の説明、テキスト内容の理解をより深められるよう動画を流しながら、行われました。

また、実技に関しては、受講者2名人に対し練習用人形が1体用意され、手指消毒を行いながら順番に取り組みました。

大切な命を守り救うためには、「助けを求めている人」「必要とする人」を見過ごすことなく「どうしたのだろうか？」と関心を持つこと、そして「誰か」が気付くだろうと人任せにせず「自分」が“救助者(バイスタンダー)”となること。そのためには「救急・救命」に関する正しい知識と技術を学び、覚え、活用できるよう準備をしておくことが大切です。また、119番通報時にスピーカーモードにすることで指示を仰ぐことができるので、安心して救助活動に取り組めることを教えていただきました。

今回の講習に参加できなかった方にもできることがたくさんあります。その場に居合わせた方々で協力しながら、「救命の連鎖」の一部を担い、活躍出来るよう「救急・救命講習会」に多くの方が参加して下さることを願っています。

(写真・文：浅賀公子)



挨拶
吉田副会長



司会
吉田理事



熱心に指導をしてくださいました。



胸骨圧迫とAED



講習風景

